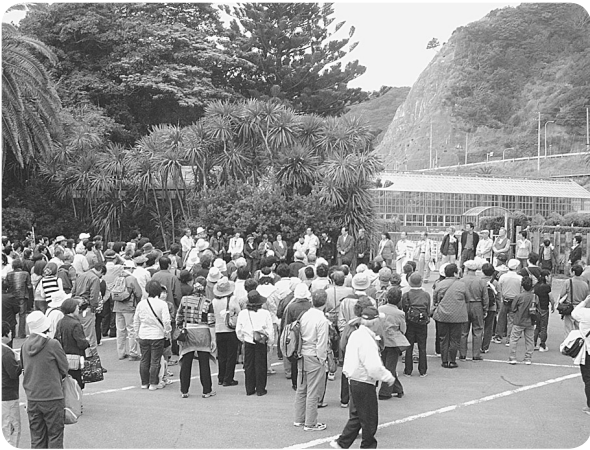




恒例のバス5台での全体会



楽しい食事風景



とってもおいしかった「いちご狩り」



潮騒市場でおみやげ



頼朝の隠れ穴の前で



釣り堀も大人気

認知症の人や家族を見守る
認知症を理解する「**認知症サポーター養成講座**」
のご案内

☆この講座は、介護の方法を学ぶためではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となっていたくためのものです。
☆講座を受けた方は「認知症サポーター」となり、「認知症の人を応援します」という意思を示す目印であるブレスレット（オレンジリング）をお渡しします。
☆内容は「認知症サポーター養成講座」標準テキストにもとづいてビデオ上映を交えた90分程度の講義です。講師は認知症サポーターを養成する資格を持った方（キャラバンメイト）を品川区で派遣します。
☆参加費は無料です。

◎日時 5月16日(土) 10：30～（受付開始10：00）
◎会場 ゆたか診療所 通所リハビリ室
◎講師 品川区キャラバンメイト
申込み締切り 5月13日(水)

*参加される方は、下記の連絡先にお名前、電話番号をお知らせください。

《連絡先》 ゆたかの家 03-5751-0946
城南保健生活協同組合 03-3762-0266

ゆたか診療所 通所リハ開設1周年記念
第6回健康講座のご案内
認知症の予防

◎日時 6月6日(土) 14：00～16：00
◎場所 品川・中小企業センター大講習室
◎お話 大友 英一先生



（1953年東京大学医学部卒業、米国メリーランド大学神経内科教室に留学、1960年「浴風会病院」に入り、同院内科医長を経て現在浴風会病院院長、著書・いくつになっても「元気な脳」でいる方法＝法研2008/7、メタボリック・スパイラルの衝撃＝法研2008/5、ぼけとアルツハイマー＝平凡社2006/11、他多数）

主催 ゆたか診療所 3781-4723
三ツ木診療所 3779-0031
城南保健生協 3762-0266
お気軽にお越しください

助け合いまちづくり委員会主催
「**認知症サポーター養成講座**」を
～大田・品川で開催～



その人によって対応が違うのがよくわかりました（品川会場）

3月14日、大田区消費者生活センター・第6集会室。3月21日、西品川の三ツ木診療所3階会議室で「認知症サポーター養成講座」が開催されました。

この講座は介護の方法を学ぶのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となるためのものです。講座を受けると「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印であるブレスレット（オレンジリング）が渡されます。認知症サポーターを養成する資格を持ったキャラバン・メイトに約90分の講義をしていただきました。大田では11人、品川では30人の方々が受講され、キャラバン・メイトの話に熱心に耳を傾けていました。受講者の方々からは「今日のような学習を通じて多くの人が理解されれば、患者も介護する人ももっと楽しく生活できるようになると思います。この講座を学んで私の心にあった暗いイメージが消えました」「認知症も奥が深く、いろいろな症状があり、対応もいろいろでよい勉強になりました。まず自分自身の予防に心がけなければと思いました」「認知症にどう対応すればよいのか具体的に知ることができました。また自分自身が認知症にならないために、認知症を理解することが大切ということを知りました」などさまざまな感想を寄せていただきました。

日本生協連医療部会では、認知症サポーターを1万人養成し、明るいまちづくりにとりくもうと全国でキャンペーンを行っています。今年になってその1万人を突破しました。

この講座をまだ受講されていない方だけでなく、すでにサポーターとなっている方でも、もう一度受講することでより理解が深まります。助け合いまちづくり委員会では、これからも定期的に「認知症サポーター養成講座」を開催していきます。